



西内野 コミュニティだより

39号

発行者 西内野コミュニティ協議会
会長 寺瀬 千恵
編集 総務・広報部
事務局 TEL (025) 262-0377

西内野あいさつ運動 (8/25~27) ~西内野小学校 生活委員会の児童とともに~



毎年恒例の「西内野あいさつ運動」を西内野小学校の夏休み明けに3日間行いました。今年度は西内野小学校の5、6年生の児童で構成している生活委員会と一緒に活動しました。

今年度、生活委員会から「地域の大人と一緒にあいさつ運動がやりたいけれどどうしたらいいですか?」と相談が地域教育コーディネーターにありました。そこでコミ協で毎年行っているあいさつ運動と一緒にやることを提案し、相談のため委員会に青年・文化部部长の永吉さんが出向き、様々な方の協力があって実現しました。

~地域の人とあいさつ運動をしてみても~

西内野小学校 生活委員長 6年 佐藤 連

ぼくは、生活委員長です。ぼくたち生活委員会は主に、10、20、30日にあいさつ運動をしています。今回地域の人たちとあいさつ運動をすることにしました。どうしてかということ、子どもたち同士であいさつをするよりも、たくさんの人たち(地域の人)とあいさつをしたほうが気持ちいいし、ふだんからたくさんの人にあいさつすることで自分の地域が明るくなると思ったからです。

3日間にわたってあいさつ運動をしました。1日目は、自分からあいさつをする人が少なかったですが、2日目、3日目になると、自分からあいさつをする人が増えてうれしかったです。

ぼくがあいさつ運動で心がけていることは、元気よく、明るくあいさつをすることです。自分が元気にあいさつをすることで、相手も元気にあいさつをしてくれるからです。

今後、あいさつ運動がなくても自分からあいさつをしてくれる人がどんどん増えてくれるとうれしいです。みなさんもあいさつを大切にしてください。

ひとこと感想

生活委員会の児童

- ★ボランティアさんといっしょにあいさつ運動をしたら、みんながたくさんあいさつをしてくれたのでうれしかったです。
- ★ボランティアさんといっしょにあいさつをいっぱいできてうれしかったです。
- ★今年のはじめよりあいさつをする人が増えたと、声も大きくなったのでうれしいです。
- ★雨の日も暑い日も大きい声であいさつできるようにがんばりました。
- ★私があいさつするとみんな笑顔で返してくれて、とてもうれしかったです。

地域の大人

- ★地域の大人に呼びかけたり、「旗」に工夫したり、「あいさつ運動」をいい活動にしようとする積極的な子どもたちの姿に感動しました。
- ★生活委員会のみなさんとあいさつ運動をしたらすがすがしい気持ちになり元気になりました。ありがとうございました。
- ★登校する元気な小学生と挨拶を交わして私も元気をもらいました。
- ★コロナ禍で地域でもかかわりが減っている中、子どもたち・先生方・保護者・地域の人たちが一緒になって取り組み活気があり良かったです。



新型コロナウイルス感染症予防講演会 ～正しく知って正しく怖がる～

6月26日(土) 14時～15時30分

坂井輪診療所の安達哲夫先生を講師にお迎えして新型コロナウイルス感染症予防講演会を開きました。

新型コロナウイルス感染症が猛威を振り、大半の方はワクチン接種はこれからという頃、新聞・テレビ等ではさまざまな事が報道されていて、私たちはとても不安な毎日を送っていました。

この時期に合った正しい知識を分かりやすく話してもらえ、不安や疑問には直に答えが聞きたいという気持ちでこの講演会を開きました。

デルタ株のこれからの予測や、免疫力の話、ワクチンは有効なのか、地域ではどう支えあい生活をしていったらよいか、何が正しく、何に気をつけなければいけないのか等、安達先生は分かりやすく丁寧にお話してくださいました。

オリンピックやお盆の帰省に伴う感染症の増加が私たちをさらに不安にさせている今、医療現場の崩壊を目の前にして、もう一度先生のお話を振り返ってほしいと思います。

講演会アンケートにもたくさんの方から、「分かりやすいお話が良かった」「予防の大切な事が良く分かった」「参考になった」等感想が寄せられました。

またいろいろな講演会を計画してほしいとの要望もあり、これからの状況をみながら感染症対策をしっかり行い、計画出来ればと思っています。

60名の参加をいただき、感染症対策にご協力ありがとうございました。

健康福祉部 部長 五十嵐 秀子



アンケートより抜粋

- ・「免疫力について」日常生活の中での免疫力をつけることが大切なことを知りました。
- ・食生活をはじめとして日々の生活に気を配りたい。
- ・ウイルスと免疫、ワクチンの話など、いろいろ疑問だったことが安達先生の話でよく分かりました。自分で学ぶ必要も感じました。
- ・今回コロナワクチン接種2回受けたのですが、どれくらい安心出来るか心配でした。講演会を聞いてとても役に立ちました。

海岸清掃

7月22日(木・海の日)
午前6時から、内野上新町の海岸清掃を実施し、プラスチックや漂流物などを回収しました。来年は、参加人数を増やせるよう準備したいと思います。

内野上新町 自治会
会長 古俣 雄次



西内野コミ協全体地図作りしました

あるようでなかった西内野全体の地図をこのたび作成しました。今後、地域の防災防犯などをはじめ地域活動で活用する予定です。

総務・広報部



夜間防犯パトロール

コロナ禍により昨年と同様に規模縮小で実施し、今年はさらにやり方を変えて『自分たちの自治・町内会区域を自分たちでパトロール』しました。パトロールの途中では「ご苦労様」と声をかけられたり、家の中からわざわざカーテンを開けて手を振って頂き、コミ協事業として継続して行ってきたこの活動は、皆さんに浸透していることが分かりました。そして区域内にもれなく拍子木の音を響かせることが出来ましたので、今後の火災予防に繋がることでしょうか。日程は各自治・町内会により異なりますが、防犯上危険箇所などは私の所に結果報告として来ますので、今年7月に作成した西内野コミ協全体図に落とし込み、役員一同で把握し、その後も危険箇所を定期的に巡回することで安心・安全な地域にしてみたいです。

防災・防犯部
部長 渡辺 和良



県展最優秀賞受賞

「天空へ」



丸山 実
(広通江団地自治会)

今回は令和3年の県展(写真部門)で二度目の県展賞を受賞された、五十嵐中島にお住まいの丸山実さんにお話を伺いました。

丸山さんは電力会社に勤務していましたが、50歳になるころ定年後の暮らし方を考えるようになり、それまで何となく手にしていたカメラを意識したそうです。

「定年後に一人でもできる趣味を持つ、何でも10年続ければ何とかなる」という本の言葉に励まされ、新聞社が主催する写真クラブに参加したり、趣味の通信講座を受講するなどしたと当時のことを話して下さいました。

また、一人で出かけることが苦にならない性格で、明け方の絶景を狙って車中泊で四国や山陰、紀伊方面に出かけたりもしたが、なかなか納得の作品にたどり着けなかったと、苦笑まじりのお話も伺いました。

「写真は偶然の賜物」というご本人の言葉のとおり、二度の入賞作はいずれも行き慣れた福島潟で偶然に遭遇した一場面を撮ったものでした。蛇足ながら受賞の狭き門をこじ開ける秘訣を伺ったところ、「偶然を味方にする」と即答されました。

偶然以外の味方といえば、出品作品の選定や題名付けの過程で相談相手となる奥様です。「妻は良い助っ人といったところですよ」と話す丸山さんは、頼りになる相棒と共に、三回目の入賞で「審査・鑑査なしで出品が可能」と認められる『無鑑査』を目指す(笑)と話されました。

最後に丸山さんの余暇(趣味)のポイントを伺ったところ、(1)天候に左右されないこと(2)一人でも、仲間でも楽しめることの二点を挙げて下さいました。現在は写真サークルの他にシニア料理教室や蕎麦打ちの会に参加するなどして、グループで楽しんでいるとのこと。偶然という機会を巧みにとらえるカメラの達人は仲間づくりの達人でもありました。

取材 総務・広報部

親子の居場所 こぼとの会

遊びに
来てね!

こぼとの会は、親子が楽しく安全に遊び、交流ができる地域の居場所です。参加希望者は直接会場へお越しください。

10月からの開催日

コロナウイルス対策のため急に中止となる場合があります。熱、咳などの症状のある方は参加できません。

	10月	11月	12月
第1週	7	4	2
第2週	14	11	9
第3週	21	18	16
第4週	28	25	

	1月	2月	3月
第1週		3	3
第2週	13	10	10
第3週	20	17	17
第4週	27	24	

(毎週木曜日)

会場 西コミュニティセンター和室(午前10時から11時30分)

対象 保育園、幼稚園などに就園していない乳幼児と保護者(いつからでも参加できます。直接会場においでください。無料です)

内容 親子の自由遊び 楽しい遊具がたくさんあります。

お子さんの安全については保護者の責任です。十分に注意してください。また参加中に知り得た個人情報については他言することのないようお願いいたします。ネット上に投稿するなどの場合は細心の注意をはらってください。



新潟市の補助金により西内野コミュニティ協議会が運営しています。

問い合わせ 浦澤宅 261-0387



ファイヤーコンテスト 3,000世帯以上の部 優勝

ファイヤーコンテスト
3,000世帯以上の部 優勝!(西内野防火防災連合会)

1年間の火災件数や防火活動などが評価され、西内野防火防災連合会が新潟市長より表彰を受けました。



新潟市防火連合協議会表彰 (内野平和台自治会)

地域における火災予防等、日ごろの活動が評価され、内野平和台自治会が新潟市防火連合協議会より表彰を受けました。



※冬になります。火気には気をつけましょう。

自治・町内会活動紹介

新中浜町内会防災学習会開催

9月8日(水)の午後7時から町内在住の鈴木幸治氏(元新潟大学災害、復興科学研究所 勤務)を講師にお招きし、西コミセンが臨時休館のため町内会三役、班長、各部長等、当初の参加予定者45人を24人に縮小して、当町内会館で防災学習会を開催しました。

当町内は水害、津波、土砂災害の可能性が低いという判断から、地震対策を主とした内容とし、西コミセンからお借りしたプロジェクターを活用して、地図上で県内の断層の多さを知り、60年前の新潟地震で多くの災害の原因となった液状化現象の仕組みを学びました。特に驚いたのは、町内の近くに断層があるという事実です。また、家族、弱者、高齢者の避難誘導、非常食の大切さ等を教

わり、今までの自分の無知さを恥じるばかりでした。

今後はこのような学習会が西内野地域全体に広がり、防災の意識を高め、助け合いの町、住みよい町になるよう皆さんと協力して取り組んでいきたいと思っています。



新中浜町内会 会長 大河原 弘

区政懇談会

笠原区長、関係課職員と西内野コミ協会長はじめ各専門部長などが出席し、懇談会が6月18日に開催されました。区長はじめ各担当課から誠意ある回答をいただき、コミ協側から意見や質問を出しましたが、従来の枠から出るような回答は残念ながらありませんでした。

主な懇談内容と回答です。

- 1 そばや「田か乃」前交差点の安全確保(通学路)…危険性は承知しているが、土地確保など予算面から困難。
- 2 側溝掃除のサポート体制(高齢化に対応)…現状の補助金などを活用して対応を。
- 3 広通川の遊歩道化…公園予定地になっている。県管理であり今後協議していく。
- 4 コミセンの駐車場問題とWIFI整備について…財源の問題があり困難。

その後、子どもたちの通学路の安全確保のため、区長さんを先頭に、そばや「田か乃」前交差点の現地視察。後日、現地にて建設課からは新たな通学路の提案もありました。現地での再提案は、排水路上を利用した通学路の建設を要望いたしました。建設課は担当課が違うが検討を行うとのことでした。



お知らせ

西コミュニティセンター(以下コミセン)より

- ・文化祭→中止
- ・飛沫防止アクリル板を用意しました。ご利用ください。
- ・コミセンのアンケートにご協力をお願いします。

地域づくりの拠点であるコミセンについて、西内野地域住民向けに利用実態アンケートを実施しています。(ひとり1回)コミセンに望むことの把握や現状の課題解決につなげていきたいと考えています。たくさんの方にお答えいただくことで、さらに利用しやすく工夫していきたいと考えています。アンケート用紙は、回覧板やコミセン窓口でお渡ししています。また以下のサイトからも回答できます。ご理解とご協力をお願いします。
アンケートサイト <https://forms.gle/JUgKAZFHvu2WnbkC7>



西内野コミュニティ協議会より

- 防災・防犯部
自主防災訓練→11月3日(水・祝)実施
- 健康福祉部
料理教室→検討中
体操教室と講話→検討中
- 青少年・文化部
もちつき大会→中止

編集後記

コミ協だより第39号をお届けします。

昨年同期発行の第36号は、新型コロナウイルス感染症の拡大不安から多くの地域活動が制約や中止を余儀なくされ、両面印刷の2ページのたよりになっていました。

今回は、新たな取り組みとなったあいさつ運動や健康福祉部の新型コロナウイルス感染症に関する予防講演会など様々な活動をお知らせすると同時に、編集部によるインタビュー記事にも取り組んでみました。

牛歩ですが、「できることをできる範囲で」という工夫がみられるようになっていくことを喜ばしく感じています。

相馬 克彦

